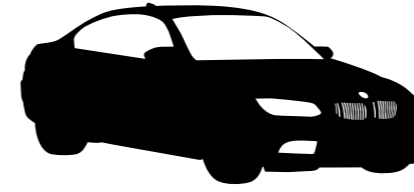


フルインター化に向けて検討中

町には関越自動車道の三芳パーキングエリアに「三芳スマートIC」が設置されています。利用台数も多いこの施設を町の交通拠点としてフルインター化に向けた整備を検討しています。
問い合わせ 政策推進室 内線 422・423



お願い

アンケートにご協力ください

フルインター化整備検討の参考にするため、広く意見をいただくことを目的にアンケート調査を実施します。調査対象者にアンケート票を郵送しますので、ご協力をお願いします。

▶調査対象（無作為抽出）…町内在住の18歳以上の3,000人。

フルインター化による効果

利便性向上

東京オリンピックの開催年を目標として、東京外環自動車道の東名高速道路までの延伸計画が発表されました。東京方面への往来が可能となることで、さらに利便性が向上します。また、慢性的な渋滞が確認されている所沢IC周辺道路や川越街道の渋滞解消にもつながり、都心への移動が約20分短縮されます。

産業・観光・商業の活性化



首都圏に近く、各主要な高速道路にアクセスしやすい立地環境であることから、流通コストの削減や時間短縮のメリットが考えられます。企業の立地を促すとともに、既存の企業の町外流出を防ぐことにつながります。さらに都心からの来町者をターゲットとした観光施策の展開や観光分野における新たな産業の創出が期待されます。

救急医療機関アクセス向上・災害対策



高次医療機関までの搬送時間の短縮につながります。また、三芳PAが災害時における救援部隊の参集場所となることから、迅速な救助活動や支援物資の輸送が可能になります。

地域イメージ向上



集客力の高いPAとともに、利用者が多い交通拠点となることから、知名度の向上につなげ、町のランドマーク（地域の象徴）として確立させていきたいと考えています。他の地域からも認められる広域主要施設であるとともに、エリア周辺を含め、情報発信拠点としての役割を担うことを期待しています。



スマートICとは

今まで高速道路の通過地点となっていた地域の活性化のため国が進めている簡易なETC専用インターチェンジです。

現在のスマートICの運用形態

三芳スマートICは、国の社会実験に町が参加し、3回の実験延長を経て、平成18年10月に恒久化が実現したものです。当時の社会実験では、周辺道路の改良を要せずに、いかに簡易な整備で実現するかが求められていたため、車種制限のあるハーフ運用（出入り方向限定）としてスタートしました。

【ハーフ運用】下り車線（新潟方面）は入口のみ、上り車線（東京方面）は出口のみの利用に限られた運用となっています。

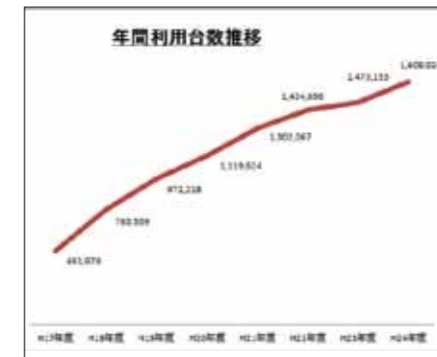
【車種制限】利用可能車種は、普通車と軽自動車等（自動二輪車含む。車長6メートル以下）に制限されています。

フルインター化整備の検討内容

現在、町では一定の条件のもと車種制限を拡大し、双方向通行を可能とするフルインター化について整備することを検討しています。

【フルインター化】東京方面、新潟方面のどちらにも出入り口を設置

【車種制限】利用可能車種を全長12m以内の車（観光バス、トラック、緊急車両）までに拡大（トレーラー等12m以上の大型車両は除く）。



年々増加する利用台数

三芳スマートICは平成17年の社会実験から開始されました。年々利用台数は増え、現在1日平均4,800台が利用しています。

地域活性化を支える交通拠点に

町の財政は、歳入の6割ほどが町税で賄われ、その多くを法人の税収により支えられています。すでに税収が減少するなか、生産年齢人口（15歳〜64歳）の減少や企業の流出が生じた場合、さらに税収が減少し、財政状況において深刻な悪化が予想されます。また、圏央道の延伸が進み、沿道の自治体では企業誘致活動が活発に行われていきます。町内の事業所は、古くから立地されているものが多く、施設の老朽化等による改築や拡張を検討する際には、町内からの撤退、移転も考えられます。

全国でもトップクラスの利用台数

こうした状況に備え、町が税収確保のため地域の活性化に向けた政策を考えていくことは、重要な課題と考えられます。そこで、町では、三芳スマートICの利用台数が、全国のスマートICの中で現在トップクラスであることに着目し、地域活性化を支える町の交通拠点として捉え、三芳スマートICのフルインター化を検討する取り組みを行っています。

実現に向けた取り組み

町では、スマートICのフルインター化にあわせて次のような周辺地域の活性化や安全対策を計画しています。

- 【産業拠点の整備】スマートIC沿いの幹線3号線周辺をみどり共生産業ゾーンとして定め、秩序ある街並みを形成しながら、産業活性化を図るエリアとして取り組んでいきます。
- 【観光拠点の整備】東京方面からの来町者や多くの三芳PA利用者をターゲットとし、PA周辺の観光・商業拠点の整備を検討していきます。
- 【安全対策への取り組み】町内の交通の流れを把握し、歩道整備や交差点の改良（改善）を実施していきます。
- 【わかりやすいスマートICへの道案内】わかりやすい誘導看板の設置により、大型車等の交通の流れを誘導することで安全な交通環境の実現を図ります。